

**北** 海道大学を卒業して地元・目黒に戻ってきてから、私は行政計画の策定を行うコンサルティング会社に就職しました。

担当したのは、神奈川県、静岡県、群馬県、新潟県など、東京から少し離れた地方の自治体。

“地域のこれから”について、現地で役所や住民の方々と一緒に考えるなかで、数々の厳しい**現実**に遭遇しました。

入学者数が30年前の4分の1に激減した**小学校**  
人影がなく、潰れた商店と傾いた看板が目立つ**駅前通り**  
若者が離れゆき、人口の半が高齢者になった**町と村**

そしてなかでも強く感じたのは、若者の政治離れでした。  
意見はあっても、公の場で発言するには意味を感じない。  
ですから、地域の課題を話し合う座談会を開催しても、若者は参加しません。住民アンケートもそう。選挙もそう。

そうやって“**未来の中心世代**”不在のまま政治が決まってゆくのを、私はやりきれない思いで見っていました。

私が目にした**現実**は、目黒区に住む私たちにとっても全く他人事ではありません。

いずれ目黒区にも、高齢化、現役世代の人口減少と財政難により、**高負担・低福祉の厳しい時代**が訪れるでしょう。

「**未来は今の積み重ね**」です。**未来の区民の暮らし**を決める**今の区議会**の中心は、残念ながら、厳しい時代を迎えるときにはすでに引退されているであろう世代の議員さんです。

そしてその一方で、**未来の当事者**である若い世代は多くの人が区政に関われていませんし、関わろうともしません。

果たして、これでいいのでしょうか。

20・30代の私たちが区政を白紙委任して、数十年後に中心世代としてバトンを渡されたとき、**自分たちの無関心の未来**に行きついた未来に責任を持てるのでしょうか。

**少なくとも私は、そんな未来は望みません。**

**自分たちの未来は、自分たちで選択したい。**

だからこそ、思います。

**目黒の未来に、無責任でありたくない!**



**目黒の未来に、  
無責任でありたくない!**

かず ひろ  
**かいでん 和弘**  
改 田

無所属

特技・趣味  
行動指針

チェロ演奏、剣道(2段)、野球観戦、水泳、歴史研究  
為せば成る 為さねば成らぬ 何事も成らぬは人の 為さぬなりけり

**大志を胸に、25歳。**

HP・フェイスブックにて、活動記録を公開中です。

かいでん和弘

検索



<https://www.kazu-kaiden.com>

プロフィール

1993年 11月23日生まれ(平成5年・3人兄弟の長男)

2000年

入学

目黒区立原町小学校 入学

- ・原町学童保育クラブに3年間在籍。
- ・教室にあった『ジョン・F・ケネディ』(アメリカ大統領)の伝記(マンガ)を読み感動。彼の生涯を通しての“懸命さ”に憧れを抱き、その“最期”に涙する。

卒業

2006年

入学

都立桜修館中等教育学校(旧・都立大学附属高校) 入学

- ・目黒区八雲に新設された同校に1期生として入学。
- ・学校の隣にあった八雲中央図書館で歴史小説(司馬遼太郎、宮城谷昌光など)を読み漁る。**古代中国の為政者の潔い姿を見、「政治家とはかくあるべし」と思いを致す。**
- ・自治会長を務め、桜修館の学校説明会や都立大学附属高校の閉校記念式典で演説。

卒業

2012年

入学

北海道大学 法学部 入学

- ・初代教頭・クラーク博士の「少年よ、大志を抱け」の言葉を胸に、法律と政治を学ぶ。
- ・大学オーケストラでチェロを演奏、楽団初の学生指揮者も務める。

卒業

2016年

まちづくりコンサルティング会社 就職

- ・アンケート調査や住民座談会(ワークショップ)などを通して、**行政計画の策定**に携わる。(介護保険、子育て、障害者福祉、健康増進、教育分野など)
- ・**地方部から日本が活気を失っていく姿を見ながら、「もっと自分にできることはないのか」と自問自答。**

2018年

「自分たちの未来に、無責任でありたくない」、その思いから意を決して退社。

# 目黒区も、変わらないといけない。



## 目黒区の問題点 ①

### 次の世代へつながらない

**出生率** 一人の女性が一生のうちに産む子どもの数

目黒区 **1.07人** (2017年)  
都平均 1.21人 国平均 1.43人

**2人の夫婦から1.07人の子どもでは今のままの社会制度は維持できません。**  
ただし現在、転入者により子どもの数は増加傾向。

## 目黒区の問題点 ②

### 仕事と子育ての両立が困難

**待機児童 330人** (2018年)

**ワースト8位** / 全国1,741市区町村

保育施設に入れないから…

〔育休延長・退職を強いられる  
ベビーシッターなどに依頼して多額の出費〕

**自分のキャリアか子育てかの二者択一になってしまっている。**

**30年後、人口は  
こう変わる**  
(2018年推計)

**日本** 人口減少が進む  
30年間で2,000万人減少

一方…  
**目黒区** 人口増加が続く  
30年間で2万人以上増加

0～4歳 現状維持→

5～19歳 増加↗

20～29歳 現状維持→

30～49歳 減少↘

50～59歳 増加↗のち減少↘

60歳～ 大幅増加↗

## 目黒区の問題点 ③

### 区政と若い世代との距離が遠い

**区政への関心**  
10代・20代は**3人に2人**が関心なし (2017年)  
**区議選投票率** 20代は**20.90%** (2015年)

**めぐろ区報**  
10代・20代は**10人に1人**しか見ていない (2017年)  
**若者を意識した区政報告ができていない。**

## 目黒区の問題点 ④

### 地域の中で経験と時間を活かせる場が少ない

**高齢者数** 今後30年間で**約2万人増加** 見込み  
しかし…地域交流の機会やイベントが少なく、家の中での生活で完結してしまう。  
**知識や経験、伝統を伝えていく機会がない。**  
**家族だけの介護・子育て・防災はもう限界。**

こんな

目黒

をつくりたい



若者世代

## 目黒の未来は自分たちでつくろう

- ・若い世代の**思い**を区政へ (区の計画に若い世代の意見を組み込む)
- ・区の情報**をわかりやすく** (読みやすい『めぐろ区報』に刷新)

全ての方に

「いざ」というときに頼れる  
“つながり”づくり

- ・世代を越え、地域で**見守り助け合う**関係づくりを目指します



子育て世代

## 次の世代は みんなで育てる

- ・共働きでも子育て (保育所 & 学童の待機児童解消)
- ・夫婦だけでも子育て (ファミサポ事業の活用)
- ・個性を育む (部活動・文化事業の推進)

## 手ごたえのある日々を、目黒区で

- ・社会貢献で**支え合う** (ポイント付きボランティア)
- ・**趣味**でつながる (老人クラブ・サークルの充実)
- ・身体を動かして**健康**に (体操で介護予防)



高齢者世代

詳しい政策の中身については、公式ホームページをご参照ください。

